

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 4月 30日

事業所名 ベーテルの夢

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2		・活動別に部屋を区別したり戸外活動を積極的に取り入れる ・全学年合同のため高学年児童の様子を気にかける
	2	職員の配置数は適切である	5	1		低学年、高学年で職員の配置を検討した方が良い
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3		家庭環境同様の空間で自立支援に適しているが階段、段差等バリアフリー化の配慮が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・毎日の清掃と感染症予防の為に消毒を徹底している。	・家庭の様に安心して過ごせる雰囲気があり成長と共に快さを感じる事もある ・毎日の清掃
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			毎朝のミーティングにて情報共有と振り返りを毎日行っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			自己評価を参考にしている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		ホームページやInstagramなどで前年度の自己評価を公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		今後予定している
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			研修等の情報を得、スタッフで必要な知識や経験の習得に励んでいる
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			送迎時等、保護者様との情報共有など密に行っている
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			定期的なアセスメントシートを使い見直し、状況把握をしている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			神経発達症の研修や勉強会に参加し、事業所内においても勉強会を持っている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			個別支援計画に沿った支援を実施している
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			子供達の特性や情緒の波など細かな変化に応じて行っている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			ホースセラピー、ドックセラピー等色々な行事作成をしている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			子供達の特性や情緒の波など細かな変化に応じて行っている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			始業前の申し送りに、法人理念の確認、当日の役割、利用児童の確認と支援内容の確認を行っている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			帰宅送迎後のミーティングを持ち引継ぎ改善点など話す
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			リタリコアプリにて記録入力。個別支援計画書、保護者への連絡事項などに連動した記録内容になるように留意している
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			スタッフミーティングにおいて共有された情報を加味しながら、児童発達管理責任者によって計画の見直しを行う
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			サービス担当者会議には児童発達管理責任者又は管理者が出席し、必要に応じて児童指導員が出席するようにしている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			事業所内において共有されている情報を担当者会議や送迎時に確認し合い、必要に応じて保育園で起きたことや家児相等などの情報を提供してもらい利用時の細かい留意点とする
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	5		現在医療ケア児受入無し
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	5		現在医療ケア児受入無し
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			引継ぎ等で本日の様子を都度確認している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			引継ぎ等で本日の様子を確認。継続的な支援によって利用児童が地域に馴染んだ生活を送れるように、側面からのサポートを意識し情報の提供と継続的な関係性の維持に努める
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			すなばの会などの勉強会への参加をしている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6			自治会広場や近隣公園、児童館等で地域の子と自然に交流している
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		当該サービスの客観性を保持するために、児童発達支援管理責任者、児童指導員等を通して参加し、可能な限り地域に根差したサービスの在り方と利用児童本位のサービスの構築を目指しし参加予定
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			引継ぎや電話、メール等で状況の共通理解を図っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	4		今後、保育や医療の専門家と連携しながら、利用児童の必要に応じて取り組んでいきたい
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		別途費用徴収や報酬改定内容に関しては具体的な金額等記載した便りを別途配布している	契約時や毎月発行のペーテル通信等において、当事業所の基本的方針や支援内容、利用に係る費用についてご連絡している
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			児童発達支援計画書を作成後、保護者に確認・同意を得た上で署名捺印を頂き支援している

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			帰りの送迎時、引継ぎ、モニタリングなどを通して行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		事業所の台風災害等以降ベーテルcafé等父母の会開催が中断されている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		相談内容について、職員で共有、内容を回覧している	情報伝達の方法や配慮すべき点について情報の収集に努め、必要な対応をとっていききたいと思う
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		日々の活動の様子等、Instagramにて発信している	ベーテル通信や行事前のお手紙配布
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		事前に写真等を初めてとする個人情報について配慮し、保護者の確認、承諾を得ている	すべてのスタッフが個人情報保護に関する学び、この点について十分な理解をし、利用児童とご家庭の安全安心に努める
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			情報伝達の方法や配慮すべき点について情報の収集に努め、必要な対応をとっていききたいと思っている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		地域の行事に参加し、ベーテル主催のイベントを企画し積極的に開催できるよう取り組んでいく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	BCPの作成をし災害時に迅速な対応とスムーズな事業継続を行えるようにした	各種マニュアルについても策定し、スタッフと確認しながら保護者へも周知している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年間行事に取り組み日頃から避難訓練を実施	年2回（災害・火災）、その他（不審者訓練・地震・津波）
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		服用一回分のみを持参するよう依頼している	入所時アレルギー等の確認や年度初めにフェイスシートにて情報を提供してもらっている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			ご家庭より提出される情報に合わせ、必要に応じて医師の指示書を提出してもらうようにしていく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		気づいたらすぐに記入できる様に共有スペースに配置している	ヒヤリハットの必要性を認識し、大きな事故に繋がらないようにスタッフ間で共有し、事例を振り返りながら未然に防いでいる
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		職員会議などで常に話し合い気づきを大事にしている	虐待防止に関する研修について、特に意識しながら研修に参加し、知り得た情報や伝達研修・所内の研修を通してスタッフ内で共有している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		強度行動障害支援者研修に受講しスキルアップしている	身体拘束0を基本とし、拘束しないケアの在り方についてスタッフ全員で取り組み、法人の他サービスから得た考え方やノウハウを現場に活かし、保護者との十分なコミュニケーションを通して計画していく 強度行動障害支援者を配置している

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。